

令和6年度大阪府子ども読書活動推進事業計画

資料2

(1) 令和5年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこともあり、概ね7つの重点的な施策に掲げる、具体的な方策に沿った事業を実施することができた。 ○図書館では子どもの来館者数に波があったり、滞在時間が短い傾向があり、新型コロナウイルス感染症流行後の変化が懸念される。一方で、研修や講座についてオンラインで配信を行うなど、新たな方法での取組も定着してきている。生活様式の変化やICT技術の革新等に対応していく必要がある。 ○計画期間の折り返しを迎える、子ども読書活動推進会議でも現状や課題の確認を行うことができた。課題としては、不読率の改善に向けて「就学前の子どもの保護者へのアプローチ」や「本に興味のない子どもにどのようにして本と触れ合ってもらうか」等への取組の困難さが挙げられた。 ○多言語読書活動推進事業について、多言語えほんのひろばは、共催する市町村が地域の国際交流団体等と連携して開催し、共催市町村が次年度以降に単独で開催できる繋ぎを作ることとともに、イベント開催の経験がない市町村に向けた開催の手引を作成予定。また、絵本紹介リーフレットは5言語追加で作成し、計10言語となつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多言語読書活動推進事業において、多様な子どもに対してのみならず、イベントの運営スタッフ等に外国にルーツをもつ方々が参加することで、より効果的な取組となっていることは評価できる。 ○普段本を読まない子どもや、図書館に行かない子どもの意見を聞くなどにより、子どもに主体性を持たせ、子ども自身が本を読みたい、読んでみようと思えるような取組が必要ではないか。 ○子どもが読書をする上で学校図書館の役割は大きいが、学校図書館の状況や、公立図書館から支援する取組については市町村によって異なっている。子どもが読書をするきっかけを多く作っていくためにも、学校図書館と公立図書館がより柔軟に連携を進めていく必要がある。

(2) 令和6年度事業実施計画のポイント

1	すべての子どもが主体的に本を読みたくなる環境の設定
2	多様な子どもたちの読書環境の充実をはかる

(3) 令和6年度事業実施計画 具体的な取組

A 重点的な施策	B 具体的方策	C 第1回社会教育委員会議	D 子ども読書活動推進会議	E 成果・課題（自己分析）	F 改 善	G 第2回社会教育委員会議
						ご意見
1 読書活動普及・啓発	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・えほんのひろば ・おはなし会 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等でえほんのひろばを開催（多言語えほんのひろばを含む） ・市町村・学校等へのえほんのひろばセットを貸出 ・府立中央図書館にて、おはなし会を開催 			
	小中高	<ul style="list-style-type: none"> ・読書イベント ・SNSやミニコミ誌等を活用した読書活動啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・作家が学校園等を訪問する大阪府オーサービジット事業を実施（府費開催（幼保・小・中・高・支援・フリースクール・矯正施設・児童自立支援施設）計12回） ・おはなし会の実施 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会を開催 ・本のPOPづくりコンクールの開催（中・高） ・府立中央図書館にて、学校等からの見学受入、スクールサービスデイを実施 ・高校生のための図書館講座を実施 ・サンケイリピング小学生新聞（公立小4～6年生に配布）にて読書手法などの紹介記事を掲載（夏・春 計2回） ・X（旧twitter）やインスタグラム等を活用した中高生向け図書資料の紹介 			
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」におけるイベント ・OSAKA PAGE ONE ・読書活動普及啓発広報物の作成 ・「こころの再生」府民運動と連携した読書活動の普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書の日（こどもの読書週間）の趣旨に沿った事業を実施（4月23日～5月12日） ・民間事業者との連携や、府内放送により、子ども読書の日の周知・啓発を実施 ・府立中央図書館の地下書庫見学ツアー、街頭紙芝居実演イベント、親子向け絵本ワークショップ、おはなし会の実施 ・OSAKA PAGE ONEのバナーを作成し、市町村・民間事業者等へHP掲載依頼 ・映画タイアップポスターの作成 ・サンケイリピング小学生新聞（教育委員会発行協力、こころの再生府民運動啓発協力）の記事提供協力 			
	乳幼児の時期の保護者や教育保育施設への読書活動支援	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートなど、家庭や地域における読み聞かせ活動の支援 ・特別貸出図書セットの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新子育て支援交付金」の活用について会議にて市町村へ周知 ・民間事業者の協力を得て乳幼児期のお勧め本リーフレットを作成し、市町村立図書館、保健所へ配布 ・教育保育施設の職員等を対象とした読み聞かせ講座等の研修を実施 ・子どもの興味や生活に応じたテーマでそろえた絵本セットの充実 ・府立中央図書館HP「こどものページ」「子どもの読書活動推進のページ」 		
3 中高生が読書への興味・関心を高めるためのインターネットを活用	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ・府公式X（旧Twitter）「さあ、本を読もう！」 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信等 ・オーサービジット事業（中高生向け）のSNS等での情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日に府公式X（旧Twitter）にて主に中高生に向けた本を紹介 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信を実施 ・オーサービジット事業（中高生向け）のSNS等での情報の発信 			

A 重点的な施策	B 具体的方策		C 第1回社会教育委員会議	D	E 子ども読書活動推進会議	F	G 第2回社会教育委員会議
	発達段階	主な内容	令和6年度事業実施計画	実績	成果・課題（自己分析）	改善	ご意見
4 支援が必要な子どもへの読書環境づくり	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・えほんのひろばや読み聞かせなど、支援が必要な子どもの状況に応じた本との出会いを提供 ・障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対する読み聞かせ活動の支援 ・子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等 ・特別貸出用図書セットの充実及び協力貸出 ・図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対するサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・「多言語読書活動推進事業」を実施 ・外国语保護者向け絵本紹介リーフレットを配布 ・多言語えほんのひろば及び読み聞かせイベントを実施 ・府立中央図書館において、手話でのおはなし会を実施 ・府立中央図書館において、支援学校への出前おはなし会を実施 ・視覚支援学校において、サビエ図書館を活用 ・点字図書、ディジー図書、LLブック等の更なる充実 ・多言語えほんのひろばを開催するための手引きを配布・周知 ・府立中央図書館において、府内市町村立図書館に対して、支援が必要な子どもへの読書環境づくりに関する実態調査を実施 ・府立中央図書館において、支援が必要な子どもの読書活動の現状や課題・方策について、研修や講演等を実施 ・多言語で書かれた本、誰もが楽しめる文字なし絵本等の貸出セットを充実し、学校や教育保育施設、ボランティア等の団体に貸出しを実施 ・郵送貸出や、オンライン（ウェブ会議システム）を利用した対面朗読サービス等を実施 				
5 子どもに本を届けるネットワークの整備	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携支援 ・特別貸出用図書セット（絵本）の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・府内で活動されている読書ボランティアの情報収集を行い、教育保育施設等に対して、読み聞かせボランティアを一覧にして紹介・周知 ・特別貸出用図書セット（絵本）を貸出 				
	小中高	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと学校の連携支援 ・特別貸出用図書セット（朝読・調べ学習等）の貸出 ・学校図書館（「学習」「情報」「読書」センター機能）の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・府内市町村に対し、状況に応じてボランティアとの連携を進めるよう助言 ・特別貸出用図書セット（朝読・調べ学習等）を貸出 ・読書活動フォーラム、学校図書館担当指導主事会を実施 ・学校図書館を活用した授業づくりモデル校に対する研修支援 ・「大阪府情報活用能力ステップシート」に基づいた、学校図書館を活用した授業づくりモデル校の取組みの普及、発信 				
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・読書活動支援者に対する読書関連講演や好事例の紹介 ・おすすめ本紹介冊子の作成 ・特別貸出用図書セットの貸出 ・ネットワークづくりの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラム、調査研究成果報告会を開催 ・小学校読書活動推進研修を実施 ・ピブリオバトル研修の実施 ・学校図書館担当指導主事会を実施 ・児童サービス担当者連絡会を実施 ・司書セミナーを実施 ・ボランティア養成講座等を実施 ・府内の図書館職員等のスキルアップに役立つ講座等を実施 ・府立中央図書館において、「新刊紹介」講座を実施 ・「だっこよんで」「よんでよんで」「ほんだな」等を作成 ・図書館未設置自治体公民館図書室、地域型保育病院内患者図書室、児童福祉施設、矯正施設等への貸出支援を実施 ・学校図書館協議会（SLA）との連携（情報共有等） ・府教育庁からの府内公立図書館への情報発信 ・教育コミュニティづくりに関わる団体等への子ども読書活動推進に関する情報発信 				
6 子どもの読書活動を進めるための組織の設置	—	・子ども読書活動推進会議を設置し、毎年後事業計画の内容を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動の推進に取り組む関係各課（小中学校課・高等学校課・支援教育課・中央図書館・地域教育振興課）による子ども読書活動推進会議を開催 ・市町村子ども読書活動推進担当者の連絡会の実施 				
7 電子書籍の活用検討	—	・電子書籍の活用検討	<ul style="list-style-type: none"> ・府立中央図書館において、電子書籍の活用に関する情報収集及び府内市町村図書館との情報共有並びに無料コンテンツを紹介 				

(4) 令和6年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議